

# 豚コレラ緊急対策事業の実施について

令和元年7月5日  
農林水産部

昨年9月、岐阜県の養豚場において国内では26年ぶりとなる豚コレラの発生が確認されて以降、現在までに5府県で29例の感染が確認されています。

また、野生いのししにおいても、岐阜県や愛知県等で豚コレラの陽性反応が確認され、岐阜県高山市でも豚コレラ陽性の死亡いのししが確認されております。

このため、野生いのししを媒介した本県養豚農場への伝播が非常に危惧される状況にあることから、7月2日の富山県養豚組合連合会からの要望も踏まえ、予備費を活用し、県内養豚農場への豚コレラ感染防止のための緊急対策(予算額38,000千円)を実施します。

## 【「豚コレラ緊急対策事業」の事業内容】 計38,000千円(予備費を活用)

- 1 防疫体制の強化 (予算額)
  - (1) 養豚農場周囲への野生いのしし等侵入防止柵の設置への支援 18,000千円  
県境に近く設置意向のある農場での緊急的な対応を支援(補助率1/2)
  - (2) 野生いのししの検査体制の整備・強化
    - ア 捕獲及び死亡野生いのししの感染検査に必要な機器等の整備 9,300千円
    - イ 野生いのししの検査体制の確立 1,025千円  
農家への交差汚染を防ぐため、死亡いのししの検査材料の採取や家畜保健衛生所への搬入を県獣医師会へ委託
- 2 野生いのししの有害捕獲の強化 9,675千円  
岐阜県に隣接する富山市及び南砺市における捕獲わなの増設への支援  
(国の鳥獣被害防止総合対策交付金の活用を予定[国1/2、県1/4、市1/4])  
→ 国に交付金の追加配分を要望

## 【今後の対応】

- ・ 野生いのししへの経口ワクチン散布については、具体的な内容等について国と調整中
- ・ 状況の推移を見ながら、必要な対応については、さらに9月補正予算での対応を検討